

国民宿舎通潤山荘令和2年度(第25期)事業報告

総括

○令和2年度は、前年比人数で36,440人の減少となり、売上においても93,480千円の売上減となった。さらに前々年比においては、50,214人の減少、売上高比122,086千円の大きな減少となった。

要因として、元年度末からの新型コロナウイルス感染症の拡大に影響が明らかであり、宿泊、飲食部門(宴会)において顕著である。

1回目の緊急事態宣言発令・解除に伴う町からの全館の休業要請による売上高対前年比1.3%を底に、感染状況が次第に落ち着く中で、Go Toキャンペーンやプレミアム商品券等の効果も加わり11月までは回復傾向が続いていた。

その後、第3波の感染拡大に伴うGo Toキャンペーンの一時停止や県独自の緊急事態宣言発令等の影響から、年末年始にかけて大きく売上が落ち込んだ。

各部門に共通することであるが、集客業の前提である「人の流れ」を止められている状況であること、さらには基本的な営業戦略である「人を呼び込む」様々な取り組みができなかったことが今年度の売上状況を物語っている。

ただその中であって、国、県、町の各種経済振興施策によるところもあり、「身近な人を呼び込む、売り込む」ことに力を入れたことがせめてもの救いであった。

表1)部門別実績比較(ゴルフ預り金含む)

人数:人 金額:千円

	令和2年		令和元年		比較		比率(%)	
	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額
合計	54,883	83,200	91,323	176,680	▲ 36,440	▲ 93,480	60.1	47.1
宿泊	5,499	43,006	11,171	89,422	▲ 5,672	▲ 46,416	49.2	48.1
宴会	1,859	7,344	6,808	41,141	▲ 4,949	▲ 33,797	27.3	17.9
レストラン	9,118	12,160	12,237	18,137	▲ 3,119	▲ 5,977	74.5	67.0
売店	5,286	5,225	5,940	7,699	▲ 654	▲ 2,474	89.0	67.9
大休憩室	2	0	3,151	2,026	▲ 3,149	▲ 2,026	0.1	0.0
温泉館	33,094	14,030	52,016	17,750	▲ 18,922	▲ 3,720	63.6	79.0
イベント他	25	1,435	0	505	25	930	#DIV/0!	284.2

表2)月別実績比較

人数:人 金額:千円

	令和2年		令和元年		比較		比率(%)	
	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額
合計	54,883	83,200	91,323	176,680	▲ 36,440	▲ 93,480	60.1	47.1
4月	2,525	3,053	8,168	17,171	▲ 5,643	▲ 14,118	30.9	17.8
5月	886	241	8,199	18,639	▲ 7,313	▲ 18,398	10.8	1.3
6月	1,961	538	6,754	13,354	▲ 4,793	▲ 12,816	29.0	4.0
7月	5,110	9,347	6,763	12,720	▲ 1,653	▲ 3,373	75.6	73.5
8月	5,631	8,333	8,910	19,039	▲ 3,279	▲ 10,706	63.2	43.8
9月	4,690	7,294	7,304	14,070	▲ 2,614	▲ 6,776	64.2	51.8
上期	20,803	28,806	46,098	94,993	▲ 25,295	▲ 66,187	45.1	30.3
10月	5,602	10,749	6,920	15,931	▲ 1,318	▲ 5,182	81.0	67.5
11月	6,441	14,747	8,102	18,543	▲ 1,661	▲ 3,796	79.5	79.5
12月	5,259	9,366	8,361	16,397	▲ 3,102	▲ 7,031	62.9	57.1
1月	5,709	5,681	8,965	13,068	▲ 3,256	▲ 7,387	63.7	43.5
2月	5,291	5,808	7,017	11,076	▲ 1,726	▲ 5,268	75.4	52.4
3月	5,778	8,043	5,860	6,672	▲ 82	1,371	98.6	120.5
下期	34,080	54,394	45,225	81,687	▲ 11,145	▲ 27,293	75.4	66.6

2) 部門別分析

A. 宿泊部門

① 月別状況

- オンシーズンの7月下旬から八朔祭までは、第2波の拡大により大幅な減少となった。
- 10月、11月のトップシーズンは「Go Toトラベルキャンペーン」のおかげで高単価のプランが売れ対前年比-150万円程度の落ち込みで済んだ。
- 12月より一時停止中のため、早い再開を期待する。
- 3月のみ前年度を上回っているが、ビジネスユースでの利用が約7割を占めている。

表3) 宿泊部門月別実績比較

	令和2年度			令和元年度			人数:人 金額:千円 比較(人数・金額)	
	室数	人数	金額	室数	人数	金額	人数	金額
合計	4,137	5,499	43,006	6,665	11,171	89,422	▲ 5,672	▲ 46,416
4月	278	299	2,140	603	1,002	8,904	▲ 703	▲ 6,764
5月	0	0	0	634	1,073	9,949	▲ 1,073	▲ 9,949
6月	0	0	25	459	751	5,547	▲ 751	▲ 5,522
7月	354	518	3,531	531	952	6,606	▲ 434	▲ 3,075
8月	318	523	4,240	632	1,236	10,374	▲ 713	▲ 6,134
9月	344	514	4,145	638	1,021	8,154	▲ 507	▲ 4,009
上期	1,294	1,854	14,081	3,497	6,035	49,534	▲ 4,181	▲ 35,453
10月	463	663	6,152	634	1,044	7,688	▲ 381	▲ 1,536
11月	544	847	8,327	722	1,276	9,974	▲ 429	▲ 1,647
12月	531	663	5,247	533	927	7,964	▲ 264	▲ 2,717
1月	282	309	2,117	390	591	4,705	▲ 282	▲ 2,588
2月	396	448	2,908	551	803	5,767	▲ 355	▲ 2,859
3月	627	715	4,174	338	495	3,790	220	384
下期	2,843	3,645	28,925	3,168	5,136	39,888	▲ 1,491	▲ 10,963

② 稼働状況

- コロナ禍の中での利用とビジネスユースが約4割を占めているので、1室当りの利用者数は1人に近い数字となった。
- Go Toトラベルによる一時的な単価の押し上げとシングルユースによる押し上げにより、客単価の開きはさほど大きくなかった。

表4) 稼働率ならびに客単価比較

	2年度	元年度	比較	比率(%)
販売室数(室)	4,137	6,665	▲ 2,528	62.1
利用人数(人)	5,499	11,171	▲ 5,672	49.2
売上(千円)	43,006	89,422	▲ 46,416	48.1
部屋稼働率(%)	31.5	50.6	▲ 19.1	62.2
人数稼働率(%)	11.3	22.9	▲ 11.6	49.4
客単価(円)	7,821	8,005	▲ 184	97.7
1室当り利用人数(人)	1.329	1.676	▲ 0.347	79.3

③ 発地別状況

- くまもつと泊まろうキャンペーンや移動の自粛により、九州が4分の3、熊本・福岡県で約6割の結果となった。
- 今年度は、高齢者からのワクチン接種を目論見、老人会に強い大分営業所の集客に期待したい。

表5) 宿泊利用客の発地別データ(年度別)

県名	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	対前年	R2シェア
熊本県	4,056	3,960	3,510	3,152	1,962	-1,190	35.7%
福岡県	3,139	3,040	2,899	2,353	1,418	-935	25.8%
長崎県	171	406	286	262	85	-177	1.5%
佐賀県	429	223	180	185	59	-126	1.1%
大分県	260	252	206	292	108	-184	2.0%
宮崎県	261	499	277	387	449	62	8.2%
鹿児島県	291	423	311	479	98	-381	1.8%
沖縄県	42	27	13	46	2	-44	0.0%
山口県	113	118	93	113	30	-83	0.5%
広島県	182	144	141	175	97	-78	1.8%
岡山県	56	48	41	60	43	-17	0.8%
山陰地方合計	18	6	20	19	5	-14	0.1%
四国地方合計	73	79	96	107	28	-79	0.5%
兵庫県	171	239	371	273	89	-184	1.6%
大阪府	434	657	351	497	144	-353	2.6%
その他関西地方	127	164	204	162	72	-90	1.3%
愛知県	268	286	205	505	146	-359	2.7%
その他中部東海地方	122	115	177	137	24	-113	0.4%
東京都	796	496	631	828	216	-612	3.9%
神奈川県	865	185	236	292	198	-94	3.6%
その他関東甲信越地方	310	274	298	349	142	-207	2.6%
北陸地方合計	317	55	12	88	9	-79	0.2%
東北・北海道合計	104	87	82	109	75	-34	1.4%
インバウンド(韓国)	1,890	3,147	3,087	173	0	-173	0.0%
台湾・中国・東南アジア	192	42	34	128	0	-128	0.0%
その他(不明)	702	0	0	0	0	0	0.0%
①合計(その他を含む)	15,389	14,972	13,761	11,171	5,499	-5,672	100.0%
②九州合計	8,649	8,830	7,682	7,156	4,181	-2,975	
比率(%)②÷①	56.2	59.0	55.8	64.1	76.0	52.5	
③熊本・福岡県合計	7,195	7,000	6,409	5,505	3,380	-2,125	
比率(%)③÷①	46.8	46.8	46.6	49.3	61.5	37.5	

④予約媒体分析

表6) 予約媒体分析 単位:人

媒体名	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
電話・FAX	11,058	9,563	7,908	6,569	3,332
フロント	374	204	182	296	517
インターネット経由	4,507	5,645	5,957	3,576	1,864
その他(不明含む)	129	264	486	1,956	769
合計	16,068	15,676	14,533	12,397	6,482
インターネット占有率(%)	28.0	36.0	41.0	28.8	28.8

B. 宴会部門

○コロナ禍の中で、団体の会食が制限されたため、大幅な落ち込みとなった。

今年度は、コロナ収束時に向けての法事データの整理や様々な企画の立案で回復を目指す。

表7) 月別実績比較

単位：室人千円

	令和2年度			令和元年度			比較(人数・金額)	
	件数	人数	金額	件数	人数	金額	人数	金額
合計	97	1,859	7,344	321	6,808	41,141	▲ 4,949	▲ 33,797
4月	0	2	8	38	814	4,582	▲ 812	▲ 4,574
5月	0	0	0	32	821	4,949	▲ 821	▲ 4,949
6月	0	0	0	35	771	4,375	▲ 771	▲ 4,375
7月	18	601	1,668	23	551	3,367	50	▲ 1,699
8月	7	186	383	25	563	3,605	▲ 377	▲ 3,222
9月	11	162	771	17	240	1,668	▲ 78	▲ 897
上期	36	951	2,830	170	3,760	22,546	▲ 2,809	▲ 19,716
10月	11	184	1,035	27	441	3,313	▲ 257	▲ 2,278
11月	14	243	1,077	36	708	4,474	▲ 465	▲ 3,397
12月	11	200	833	30	801	4,220	▲ 601	▲ 3,387
1月	5	57	414	27	604	3,254	▲ 547	▲ 2,840
2月	1	10	184	25	423	2,806	▲ 413	▲ 2,622
3月	19	214	971	6	71	528	143	443
下期	61	908	4,514	151	3,048	18,595	▲ 2,140	▲ 14,081

表8) 比較

	2年度	元年度	比較	比率(%)
件数(件)	97	370	▲ 273	26.2
人数(人)	1,859	6,808	▲ 4,949	27.3
売上(千円)	7,344	41,141	▲ 33,797	17.9
1件当り人数(人)	19.2	18.4	0.8	104.2
1件当り売上(円)	75,711	111,192	▲ 35,481	68.1
1名当り売上(円)	3,951	6,043	▲ 2,093	65.4

表9) セグメント分析

単位 件数:件 金額:千円

セグメント	令和2年度		令和元年度		比較	
	件数	売上	件数	売上	件数	売上
法事	19	1,887	94	13,249	▲ 75	▲ 11,362
祝い	14	759	37	3,499	▲ 23	▲ 2,740
団体昼食(一般)	0	0	3	166	▲ 3	▲ 166
団体昼食(エージェント)	5	227	7	393	▲ 2	▲ 166
同窓会	1	68	22	1,620	▲ 21	▲ 1552
老人会(町内)	6	384	7	313	▲ 1	71
老人会(町外)	0	0	12	1,428	▲ 12	▲ 1428
JA関係	5	350	15	2,069	▲ 10	▲ 1719
役場(町内・町外)	11	732	27	1,933	▲ 16	▲ 1201
一般企業(消防、警察含む)	7	676	45	3,216	▲ 38	▲ 2540
一般団体	1	42	15	5,324	▲ 14	▲ 5282
趣味の会	4	201	10	1,201	▲ 6	▲ 1000
地域団体(町内会、区長会など)	4	151	27	2,570	▲ 23	▲ 2419
学校、病院、介護施設	12	528	7	564	5	▲ 36
その他	22	901	42	3,474	▲ 20	▲ 2573
合計	111	6,906	370	41,019	▲ 259	▲ 34,113

C. レストラン部門

- 席数を減らしたり、ランチバイキングでの提供方法を工夫したり等の感染症対策を講じたが7割弱の売上の結果となった。
- 12月からいちご狩りとランチバイキングと入浴をセットで販売し、3月末までに約90名の利用があった。今期はさらにセットでの販売を推し進め、売上向上をはかりたい。

表10) 実績比較(宿泊客除く)

	2年度	元年度	比較	比率(%)
利用人数(人)	9,118	12,237	▲ 3,119	74.5
売上(千円)	12,160	18,137	▲ 5,977	67.0
料理売上(千円)	9,425	13,711	▲ 4,286	68.7
飲料売上(千円)	2,656	4,426	▲ 1,770	60.0
その他売上(千円)	79	0	79	#DIV/0!
客単価(円)	1,334	1,482	▲ 149	90.0

D) 売店(ロビー売店・自販機(2階、3階))部門

- 他の部門での集客ができていないのが主な要因ではあるが、客単価を上げられるような商品の選定や売場作り、さらにセットでの販売を推進していく。

表11)

	2年度	元年度	比較	比率(%)
利用人数	5,286	5,940	▲ 654	89.0
売店売上(千円)	5,225	6,705	▲ 1,480	77.9
客単価(円)	988	1,129	▲ 140	87.6
自販機売上(千円)	618	994	▲ 376	62.2

E) 大休憩室・温泉館

- 大休憩室は、人員の削減により料理・飲料の提供を止めたための減収ではあるが、コロナ禍が過ぎた時の活用方法として地域密着型で他部門への売り上げ向上の場とする。
- 温泉館は、利用人数は外出や移動の自粛、また、会食の自粛による宴会でのサービス券の配布がなかったため、大幅減少。
- 売上は、町民重視の回数券の特売やパス券(主に半年券)の購入により、前年度比80%弱を維持できたと思われる。

表12)

	2年度	元年度	比較	比率(%)
大休憩室利用人数	2	3,151	▲ 3,149	0.1
大休憩室売上(千円)	0	2,026	▲ 2,026	0.0
客単価(円)	0	643	▲ 643	0.0
温泉館利用人数	33,094	52,016	▲ 18,922	63.6
温泉館売上(千円)	14,030	17,750	▲ 3,720	79.0
客単価(円)	424	341	83	124.2

決算報告書

第25期

自 令和 2年 4月 1日
至 令和 3年 3月 31日

有限会社 虹の通潤館

〒861-3661 熊本県上益城郡山都町長原192-1

貸借対照表

有限会社 虹の通潤館

令和 3年 3月 31日 現在

単位：円

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	10,556,073】	【流動負債】	35,899,988】
現 金	1,189,286	買 掛 金	1,965,254
預 金	5,773,013	未 払 金	14,387,719
売 掛 金	1,948,776	未 払 金 (2)	6,073,314
商 品	778,812	未 払 法 人 税 等	71,000
原 材 料	515,586	未 払 消 費 税	5,995,500
立 替 金	30,000	前 受 金	309,700
前 払 費 用	99,000	預 り 金	5,980,623
未 収 金	221,600	前 受 金 (券)	26,000
【固定資産】	7,090,757】	預 り 入 湯 税	105,450
(有形固定資産)	(5,508,932)	仮 受 金	985,428
建 物	203,830	【固定負債】	47,160,000】
附 属 設 備	9,907	長 期 借 入 金	47,160,000
車 両 運 搬 具	3,112,307	負債合計	83,059,988
工 具 器 具 備 品	682,888		
絵 画	1,500,000		
(無形固定資産)	(1,515,000)	純資産の部	
ソ フ ト ウ ェ ア	1,410,000	【株主資本】	【 △ 65,413,158】
電 話 加 入 権	105,000	資 本 金	5,000,000
(投資その他の資産)	(66,825)	(利益剰余金)	(△ 70,413,158)
差 入 保 証 金	6,825	利 益 準 備 金	875,000
敷 金	60,000	そ の 他 利 益 剰 余 金	△ 71,288,158
		別 途 積 立 金	3,000,000
		繰 越 利 益 剰 余 金	△ 74,288,158
		純資産合計	△ 65,413,158
資産合計	17,646,830	負債・純資産合計	17,646,830

損益計算書

有限会社 虹の通潤館

自 令和 2年 4月 1日
至 令和 3年 3月 31日

単位：円

科 目	金 額	
【 純 売 上 高 】		
売 上 高	83,200,431	83,200,431
【 売 上 原 価 】		
期首商品棚卸高	1,345,847	
仕 入 高	18,196,987	
* * 合 計 * *	19,542,834	
期末商品棚卸高	△ 1,294,398	18,248,436
	売 上 総 利 益 金 額	64,951,995
【販売費及び一般管理費】		118,864,467
	営 業 損 失 金 額	53,912,472
【 営 業 外 収 益 】		
受 取 利 息	116	
雑 収 入	18,225,780	18,225,896
【 営 業 外 費 用 】		
支 払 利 息	911,342	911,342
	経 常 損 失 金 額	36,597,918
【 特 別 利 益 】		
前期損益修正益	23,224	23,224
【 特 別 損 失 】		
貸 倒 損 失	9,738,425	9,738,425
	税引前当期純損失金額	46,313,119
	法 人 税 等	71,000
	当 期 純 損 失 金 額	46,384,119

販売費及び一般管理費

有限会社 虹の通潤館

自 令和 2年 4月 1日
至 令和 3年 3月 31日

単位：円

科 目	金 額
給 料 手 当	43,000,487
雑 給	9,997,372
法 定 福 利 費	6,150,923
福 利 厚 生 費	1,219,998
出 向 料	4,920,000
広 告 宣 伝 費	400,405
販 売 手 数 料	3,110,635
外 注 費	3,970,236
交 際 接 待 費	64,169
車 両 費	107,471
通 信 費	535,081
水 道 光 熱 費	13,141,660
租 税 公 課	93,600
客 用 消 耗 品 費	1,381,382
減 価 償 却 費	2,620,113
賃 借 料	1,582,364
地 代 家 賃	1,188,000
保 険 料	333,566
修 繕 費	690,539
燃 料 費	12,137,538
事 務 用 品 費	398,162
販 売 促 進 費	243,603
支 払 手 数 料	1,643,064
厨 房 消 耗 品	740,909
雑 費	16,147
人 材 派 遣 費	2,267,571
販 売 促 進 費 II	146,229
保 守 料	2,901,440
装 備 衛 生 費	3,131,102
園 芸 費	57,537
負 担 金	326,300
備 品 補 充 費	346,864
合 計	118,864,467

株主資本等変動計算書

有限会社 虹の通潤館

自 令和 2年 4月 1日
至 令和 3年 3月 31日

単位：円

	株主資本							純資産合計
	資本金	利益準備金	利益剰余金			利益剰余金合計	株主資本合計	
			その他利益剰余金		繰越利益剰余金			
			別途積立金	3,000,000				
当期首残高	5,000,000	875,000			3,000,000	△27,904,039	△24,029,039	△19,029,039
当期変動額								
当期純利益(損失)	0	0		0		△46,384,119	△46,384,119	△46,384,119
当期変動額合計	0	0		0		△46,384,119	△46,384,119	△46,384,119
当期末残高	5,000,000	875,000		3,000,000	△74,288,158	△70,413,158	△65,413,158	△65,413,158

個別注記表

有限会社 虹の通潤館

自 令和 2年 4月 1日
至 令和 3年 3月 31日

この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。

重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法
固定資産の減価償却の方法
有形固定資産（建物以外）・・・定率法
建物、無形固定資産・・・定額法

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項
その他

消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込方式により処理しております。

貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額

10,234,459円

監査報告書

有限会社 虹の通潤館

代表取締役 梅田 穰 殿

第25期事業年度(令和2年4月1日から令和3年3月31日迄)

の事業報告、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、及び
帳簿・関係証憑等を監査した結果、適法に処理、記載されていると認める。

以上

令和 3年 5月18日

有限会社 虹の通潤館

監査役 児玉 豊和

